授業科目名・形態	病態治療学Ⅲ（小児科）　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	丹代 諭・松野　紗貴・板澤　鋼絹	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	N3-2010npmht				

【授業の主題】

小児の心身の成長・発達や健康状態を母子関係の重要性を理解しながら学ぶとともに、人の一生の中の小児の位置づけを考えてゆく。

また、心身の成長・発達過程での異常や種々の疾患を理解し、それらの症状や治療法についてもよく学習し、小児の特性に配慮した看護について学ぶ。

【到達目標】

看護師になってから実践できる知識を身につける。

【授業計画・内容】

第 1 回　感染症、寄生虫疾患（　板澤　）
第 2 回　感染症、寄生虫疾患（　板澤　）
第 3 回　消化器疾患（　板澤　）
第 4 回　呼吸器疾患、代謝性疾患、内分泌疾患（丹代）
第 5 回　循環器疾患、血液リンパ系疾患、悪性腫瘍（丹代）
第 6 回　免疫、アレルギー性疾患、膠原病、腎・泌尿器・生殖器疾患（丹代）
第 7 回　出生前・新生児疾患（　松野　　）
第 8 回　神経疾患（　松野　）
第 9 回　神経疾患（　松野　）
第 10 回　運動器・皮膚・眼・耳鼻疾患、事故、虐待（丹代）
第 11 回　試験

【授業実施方法】

講義、ビデオ供覧、参考書籍紹介

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【授業準備】

講義で使用した配布資料や教科書の復習を行ってください。

【主な関連する科目】

小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教 科 書 等】

系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学[２]　小児臨床看護各論　医学書院

【参 考 文 献】

特になし

【成績評価方法】

筆記試験の成績 100%で評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

小児科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

小児科は疾患範囲が広く敬遠されがちだが、コツがあるので楽しく学んでもらいたい。